

## 世界サンゴ礁研究開発促進プラットフォーム ～G20により発足されたイニシアティブ～

### 1. 概要

海洋汚染や破壊、水温上昇、酸性化による衰退など、人間活動の影響に対し最も脆弱な生態系の一つであるサンゴ礁の生存、保全、レジリエンス、適応、再生に資する科学的知識と技術開発を加速し、既存の取組を自発的な形で支援することを目指すイニシアティブ。対象は、熱帯・温水・冷水域を含む海域に生息するサンゴ礁とする。専門的知見の共有、学際的なグローバルコミュニティによるソリューションの開発、民間セクターの参画、情報・データへのアクセス、能力構築への貢献に焦点を当てる。また持続可能な開発目標及び国連環境総会（UNEA）決議 4/13 にも貢献するものである。

### 2. プラットフォームの活動

- 科学的なニーズに基づき、G20 メンバー及び G20 以外の国からの自発的な貢献によって支えられた研究開発プログラムの資金調達、管理、実施
- 研究開発プログラムの募集、選考、支援
- 研究結果の実証プロジェクト実施支援
- 研究成果の発信、情報共有のためのワークショップやイベントの開催

### 3. メンバーシップ及び参加方法

- 参加国の研究機関、民間企業、財団、研究プログラム、NGO 等で構成されることを想定。参加機関は、知見の共有や共同研究促進のためのインフラ（計測器、フィールドステーション、先進的な設備）、研究成果の提供などの形でプラットフォームに貢献することが奨励される。
- 本プラットフォームへの参加・関与方法：
  - 研究開発プログラムを支援する資金提供
  - 現物支給
  - 研究機関等にプラットフォームへの参加を促すこと
  - 研究プロジェクトの応募
  - プラットフォームの研究、知識共有、能力構築活動への参加

### 4. 実施枠組み

G20 メンバーの代表者で構成される臨時の設立委員会（founding committee）を招集し、プラットフォームを正式に設立し、初期ガバナンスの詳細を決定する。プラットフォームの設立後、恒久的なガバナンス体制が確立されることにより、

設立委員会は解散する。この恒久的なガバナンス体制は以下の通り。

- イニシアティブ統治委員会 (Initiative Governing Committee) : プラットフォームを統括し、計画、運営、年間予算、参加機関の認定、研究プロジェクトへの資金配分の承認等を行う。
- 科学諮問委員会 (Scientific and Advisory Committee) : 研究の戦略的方向性の策定、研究開発プログラムの審査、プロジェクトの科学的ピアレビューの監督等を行う。
- 中央ノード (Central Node) : 事務局として、キングアブドラ科学技術大学 (KAUST) を拠点とする。

#### 5. その他

- G20 メンバーは設立委員会委員を任命し、プラットフォーム設立フェーズを開始する。可能な限り年内に準備作業を進め、主にサウジ議長国が作業をリードし、プラットフォームの設立の最終決定を目指す。